

2011.APR

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第29号です。

東北関東大震災で被災された皆さま、ご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

テレビや新聞を見ていて被災地の大変さにどうしてもないほどの気持ちになるのは皆さん一緒だと思います。

ここ九州でもいろんな産業が大きな影響を受けており、日本国中が異常な状態に包まれています。

物資の供給がうまくいかずに、工場も営業マンも疲れ始めております。ともすると感情的なトラブルが発生しやすくなっています。その中でもサービス産業とレジャー産業は

全くもって業績が悪く、地元の繁華街の中洲はこれまでにない不況状態となっております。友人が勤めている旅行会社は3月は仕事がないと言っています。もちろん全国の釣具店も未曾有の売上ダウンらしいです。

そんなときに千葉県船橋に電話しましたところ「自重している場合じゃないよ。俺達は家族を養わなくてはならん。国だってお金が廻らないと日本が潰れる。お客さんに電話して船はバンバンだしているよ。」という元気な声です。この元気な声に私も見習おうと思います。自重している場合ではない。東日本のためにも働こう！



旅暮らし四方山話。(その18)

最近、齢五十を超えてから特に思っていることは「縁って不思議だなあ〜。」ということです。「縁ってなんだろなあ〜。」というテーマで本を読んだりしています。そうしたときに一つの言葉と結びつきました。縁とは旅である。

旅をすると縁ができる。当たり前かもしれないし、そうでないかもしれません。というのは小さな旅も大きな旅も、たとえ散歩でも縁の前に「出会い」がありますね。実は挨拶さえも出会いでもあり旅でもあると思うのです。最近はそのような旅をする人が少なくなってきた感じがします。年齢に関係なく、相手よりも自分自身から先に会おうとする行為です。そうして考えてみると挨拶は立派な旅なのです。遠いところばか



Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとられない商品開発や逸品釣具を求めの方とのみチームを組んでいきます。

りに行くのが旅ではないと思っています。お年寄りになっても自分から旅(挨拶)に出ることができない方もたくさんおられます。これは本当に悲しいことです。実際に遠くに旅してもやっぱり相手は人ですから本当の旅ができないとなると辛いことです。見知らぬ

人にも挨拶して、たくさんの人たちと出会っていく。これこそが旅の定義だと思います。出会うことこそが本当の旅なのでしょう。今はインターネットがあるのでこの旅が本当にしやすくなりました。メールでいろいろと話をしておき、いきなり実際にその場所に会いに行くパターンです。
(右上につづく)



私自身が12年も前からこのスタイルでいろんな人たちと出会ってきました。Gear-Labができた当初はこれで全国を回って30人の仲間を作ってきたのですが、私が無謀にもいきなり行くので相手は不審がって興信所まで使って調べられたりしたこともあります。怪しかったんでしょね～。でもそれは今も変わりません。(笑)

海外でもニューヨーク、ロスアンゼルス、シンガポール、ミラノの友人は面白い縁で結ばれています。今年のICAST(ラスベガスの世界一大きなフィッシングショー)にGear-Labは出展しますが、そこでこの友人たちが集結する約束をしています。

もちろん釣具のビジネスですが、会うのが楽しみでなりません。いえ、ビジネスだからこそ楽しいのかもしれない。もちろんその後はみんなでメキシコでマグロ釣りを楽しみます。

さて、本題の「縁」のお話しですが、私の大好きな作家で「西田文郎」というツキのカリスマと言われる元気なおじさんがいます。ツキの大原則などというテーマでスポーツメンタルからビジネス分野で活躍している人です。彼の持論は「ツキとは出会いである。運とは出会いの連続である。」と言い切っています。この人の本や講演を聞いてからは私は全くその通りだと思いつつ頭の中が綺麗に整理できました。意外にシンプルだったので、真実に一番近いところにあるのだらうと感じています。

そのなかでも一番大切なことは「自分との約束を守る」ということです。夢、想い、志は何か?これほど単純で尚かつ、難しいことはありません。スポーツの世界記録もビジネスの大成功もこのことがないと達成することなんかありえないでしょう。単純で難しいというのは、実はアホな人ほど実は自分の約束を守っているような気がしてなりません。

99%の人ができないと思っていることを、できると肯定的

Gear-Labが世界初のリールの代理店に

国際フィッシングショーが中止になり、皆さんにお会いできなかったことが本当に残念です。

Gear-Labはその間にカー一杯逐電しています。(笑)

アメリカのリールメーカーと代理店契約をしました。ベイトリールなのですが、レベルwindがないリールです。ところが巻き取る時には左右に綺麗にラインが巻けるというもので、レベルwindの抵抗がないので遠投ができますし、しかもありがたいことにバックラッシュがしにくいリールなのです。全く抵抗なしですので一つテンヤ、タイラバ、ライトジギング、バスフィッシングに使えます。お楽しみに。



な錯覚をもてる人であり、一般的にいう失敗をした際に成功に近づいたと勘違いできる人であり、なによりもいつもワクワクしている人です。あと一つ。他人を喜ばせることが楽しいと考えている人なのです。単純ですね。アホですね。私自身はそんなアホが大好きです。

これまで私は縁によって守られてきたような気がします。家族も、友人も仕事も全部です。そしてこれからも旅を続けて縁に生きたいと思います。

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092 - 663 - 5196

Fax 092 - 663 - 5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～～)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com



お気楽DETCHこと福山でした